

# 2018年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号  
05010113

## 1. 計画名称

茅野市・原村生活交通確保維持改善計画

## 2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

|                |        |    |  |
|----------------|--------|----|--|
| 進捗評価           | おおむね順調 | 説明 | 両市村の住民の移動手段は、マイカーに大きく依存しているものの、車を運転できない方、高齢者の方などにとっては、地域内のバス交通は欠かせないものである。幹線、支線及び地域間交通ネットワークの交通ネットワークが連携した効率的なバス交通体系が実現されており、児童生徒、高齢者等の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保されている。 |
| 今後の重点化<br>施策番号 | 1      | 説明 | 今後のバス交通を考えるにあたって、バス交通体系を確保・維持し、総合的な事業展開を行う必要がある。   |

## 3. 各施策等における評価内容と改革改善

| 区分 | 施策名称       | 進捗評価   | 総合評価   |  | 改革改善の具体的内容   |
|----|------------|--------|--|--|--|
|    |            |        | 主な取組内容や成果  | 課題   |  |
| 1  | 地域内公共交通の構築 | おおむね順調 | バス交通の利用促進を図るため、利用者満足度調査、車両更新、免許返納者のバス利用促進に係る検討、無料乗車キャンペーンの実施、ポケット版時刻表の作成等を行った。免許返納者など、潜在的な需要は高まってくると考えられる。 | 利用者ニーズを把握し、より効果的な運行を検討していかなければならない。また、国の補助が減少する中、市の財政と福祉政策を含めた将来投資としてのバス交通を総合的に評価し、茅野市に合った公共交通の体系を模索していく必要がある。 | バス交通を利用する人の潜在的ニーズはあると思うので、バスを利用しやすい環境整備の施策を検討、実施し、利用者増に向けた取り組みを行う。 |
| 2  |            |        |  |  |  |
| 3  |            |        |  |  |  |
| 4  |            |        |  |  |  |
| 5  |            |        |  |  |  |

※5つ以上の場合は裏面へ

## 4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

|                    |    | 主な意見   | 市の考えや対応など  |
|--------------------|----|--|--|
| 関連市民団体等名称          |    | <p>安全意識の高まり、高齢化の進展等の中で、通学・通勤・通院・買物を中心とした、住民の日常生活におけるバスの移動手段を確保していくために、茅野市・原村生活交通確保維持改善計画を策定し、協議会の中で協議している。ご意見等は無く、承認された。</p> | <p>持続可能なバス交通体系の構築を目指し、交通弱者の移動手段の確保を引き続き行う。また、利用者のニーズを把握し、利便性を高める施策を展開していく。</p> |
| 茅野市・原村地域公共交通活性化協議会 |    |  |  |
| 開催回数               | 1  |  |  |
| 参加延べ人数             | 61 |  |  |
| 関連市民団体等名称          |    |  |  |
| 開催回数               |    |  |  |
| 参加延べ人数             |    |  |  |

## 5. 添付資料

別紙「施策評価シート」